



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 中外鉱業株式会社
コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 芳賀 一利
(氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	38,095	76.0	274	—	227	—	17	—
28年3月期第3四半期	21,642	61.8	△515	—	△565	—	△572	—

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 217百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △580百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	0.06	—
28年3月期第3四半期	△1.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	7,715	—	6,760	—	86.6	—	23.08	—
28年3月期	7,645	—	6,677	—	87.2	—	23.02	—

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 6,685百万円 28年3月期 6,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	47,700	63.4	470	—	410	—	110	—	0.38	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	289,747,982 株	28年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	95,770 株	28年3月期	95,282 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	289,652,571 株	28年3月期3Q	289,652,912 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境は改善傾向にあり、米国や欧州経済においても景気は回復基調で推移しているものの、英国のEU離脱問題及び米国新政権の動向等の影響により、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金・プラチナ価格は、米国の利上げ観測及び為替相場、世界情勢等の影響を背景に総じて不安定な相場で推移いたしました。宝飾市況においては、インバウンド需要の減速及び個人消費の本格的な回復が見込めず、依然厳しい環境の下推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税や低金利の継続等により、住宅需要は堅調に推移しているものの、都市部では物件の取得競争が激化する等、厳しい環境の下推移いたしました。中古住宅市場においては、政府の活性化策等の取り組みにより市場の拡大がみられる等、堅調に推移いたしました。機械事業においては、北米での需要の一段感や中国経済の減速、円高等の影響もあり、中古工作機械業界においても厳しい環境の下推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,095,099千円(前年同四半期21,642,181千円)、営業損益は274,334千円の利益(前年同四半期515,712千円の損失)、経常損益は227,527千円の利益(前年同四半期565,457千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は17,325千円の利益(前年同四半期572,792千円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は34,288,715千円(前年同四半期18,816,665千円)、営業損益は123,256千円の利益(前年同四半期31,697千円の損失)となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は1,782,742千円(前年同四半期1,465,191千円)、営業損益は63,321千円の損失(前年同四半期20,180千円の損失)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は748,563千円(前年同四半期249,829千円)、営業損益は153,853千円の利益(前年同四半期8,164千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は733,050千円(前年同四半期1,105,449千円)、営業損益は63,116千円の損失(前年同四半期129,653千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は387,510千円の利益(前年同四半期49,785千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より69,928千円増加し、当第3四半期末は、7,715,689千円となりました。

増加の主なものは売掛金の増加(17,970千円から194,345千円へ176,374千円の増加)、預け金の増加(1,577,175千円から1,856,869千円へ279,693千円の増加)及びデリバティブ債権の増加(133,000千円の増加)であります。

減少の主なものは、商品及び製品の減少(1,061,761千円から962,568千円へ99,193千円の減少)、販売用不動産の減少(197,601千円から84,216千円へ113,385千円の減少)及び仕掛不動産の減少(329,518千円の減少)であります。

当第3四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より12,588千円減少し、当第3四半期末は、955,408千円となりました。

増加の主なものは、買掛金の増加(18,390千円から61,043千円へ42,653千円の増加)、未払金の増加(35,518千円から76,238千円へ40,720千円の増加)であります。

減少の主なものは、長期借入金の減少(388,980千円から284,220千円へ104,760千円の減少)であります。

当第3四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より82,517千円増加し、当第3四半期末は、6,760,280千円となりました。

増加の主なものは、利益剰余金の増加(△6,083,094千円から467,368千円へ6,550,463千円の増加)であります。

減少の主なものは、資本金の減少(12,782,064千円から6,248,926千円へ6,533,138千円の減少)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期業績予想につきましては、今後の貴金属価格の動向により業績は大きく影響を受けるため、連結業績予想及び個別業績予想の修正は行っておりません。確定次第速やかに公表します。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	902,973	951,480
売掛金	17,970	194,345
商品及び製品	1,061,761	962,568
仕掛品	258,422	282,001
原材料及び貯蔵品	11,732	9,628
販売用不動産	197,601	84,216
仕掛不動産	329,518	—
デリバティブ債権	—	133,000
預け金	1,577,175	1,856,869
その他	35,170	38,346
流動資産合計	4,392,328	4,512,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,394,038	1,396,813
減価償却累計額	△569,057	△616,166
建物及び構築物 (純額)	824,981	780,646
機械装置及び運搬具	520,298	530,840
減価償却累計額	△422,922	△432,121
機械装置及び運搬具 (純額)	97,375	98,718
土地	1,691,391	1,691,391
その他	112,385	112,385
減価償却累計額	△101,726	△102,570
その他 (純額)	10,658	9,815
有形固定資産合計	2,624,407	2,580,571
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	7,715	7,741
無形固定資産合計	372,715	372,741
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	136,255	129,800
その他	8,903	8,968
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	256,310	249,921
固定資産合計	3,253,432	3,203,233
資産合計	7,645,761	7,715,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,390	61,043
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	139,680	151,320
未払金	35,518	76,238
未払法人税等	35,617	15,365
その他	43,260	68,480
流動負債合計	322,466	422,447
固定負債		
長期借入金	388,980	284,220
長期末払金	19,594	14,148
金属鋁業等鋁害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	22,907	19,441
繰延税金負債	20,425	18,305
資産除去債務	189,670	192,893
固定負債合計	645,530	532,960
負債合計	967,997	955,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	6,248,926
利益剰余金	△6,083,094	467,368
自己株式	△31,153	△31,167
株主資本合計	6,667,816	6,685,127
非支配株主持分	9,947	75,153
純資産合計	6,677,763	6,760,280
負債純資産合計	7,645,761	7,715,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	21,642,181	38,095,099
売上原価	21,110,207	36,841,044
売上総利益	531,973	1,254,054
販売費及び一般管理費	1,047,685	979,720
営業利益又は営業損失(△)	△515,712	274,334
営業外収益		
受取利息	85	17
国庫補助金収入	9,770	10,283
保険金収入	8,564	985
その他	5,772	11,090
営業外収益合計	24,192	22,377
営業外費用		
支払利息	6,858	6,331
休山管理費	60,155	58,248
その他	6,923	4,603
営業外費用合計	73,937	69,184
経常利益又は経常損失(△)	△565,457	227,527
特別利益		
固定資産売却益	148	259
特別利益合計	148	259
特別損失		
固定資産除却損	0	55
固定資産売却損	519	—
投資有価証券売却損	12,066	—
特別損失合計	12,585	55
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△577,894	227,731
法人税、住民税及び事業税	12,823	12,823
法人税等調整額	△2,806	△2,120
法人税等合計	10,017	10,703
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△587,912	217,027
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,119	199,702
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△572,792	17,325

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△587,912	217,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,928	—
その他の包括利益合計	6,928	—
四半期包括利益	△580,984	217,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△565,864	17,325
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,119	199,702

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成28年6月29日開催の定時株主総会決議により、平成28年8月12日付で資本金を減少させ、その他資本剰余金に振替えた後、同日付でその他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。この結果、資本金が6,533,138千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,248,926千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	18,816,665	1,465,191	237,807	1,105,449	△26,562	43,629	21,642,181
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	12,022	—	—	—	12,022
計	18,816,665	1,465,191	249,829	1,105,449	△26,562	43,629	21,654,203
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△31,697	△20,180	△8,164	△129,653	△49,785	6,848	△232,633

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への売上高	—	21,642,181
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	△12,022	—
計	△12,022	21,642,181
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△283,078	△515,712

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△283,078千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△283,078千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	34,288,715	1,782,742	736,540	733,050	408,823	145,227	38,095,099
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	12,022	—	—	—	12,022
計	34,288,715	1,782,742	748,563	733,050	408,823	145,227	38,107,122
セグメント利益又は セグメント損失(△)	123,256	△63,321	153,853	△63,116	387,510	17,003	555,185

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	38,095,099
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△12,022	—
計	△12,022	38,095,099
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△280,851	274,334

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業、太陽光発電による売電事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△280,851千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△280,851千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。